

# 東北農業経済学会 Newsletter ◆ 2016 春号

## 青森大会の開催について

2015/16年度の研究大会は8月25日(木)～27日(土)、青森県弘前市で開催されます。詳しくは大会案内をご覧ください。最新版は学会ホームページに随時掲載します。

8月26日(金)に開催される今年度のメインシンポジウムでは、昨年のTPP大筋合意を踏まえて、「TPP大筋合意と農業者・消費者の対応」をテーマに掲げて議論を行います。多数のご参加をお待ち申し上げます。

また、8月27日(土)には個別報告も開催されます。積極的にエントリー下さるようお願いいたします。

3. 学術賞、奨励賞の対象とする研究業績は2013年4月～2016年3月末日までに刊行されたものとします

4. 提出書類：

①推薦書(1部)：学会賞事務局にご連絡いただければ、用紙等をお送りいたします。また、学会ホームページからも入手できます。

②関係資料(9部、コピー可)：推薦書で参照される著書や論文等の主要な業績

5. 提出先：

学会賞選考委員会事務局

〒020-0198 盛岡市下厨川字赤平4

東北農業研究センター

生産基盤研究領域 宮路広武 あて

Tel 019-643-3494、E-mail [hirotake@affrc.go.jp](mailto:hirotake@affrc.go.jp)

6. 提出期限：2016年6月30日(木)

## 2015/16年度学会賞候補者の

### 推薦について

本学会では、東北農業の発展と農業経済学の発展を期することを目的に、東北農業並びに農業経済学に関する顕著な業績に対し、東北農業経済学会賞を授与しています。2015/16年度の学会賞候補者の推薦を下記により受け付けます。一般会員からの推薦も受け付けることになっていますので、積極的に推薦して下さるようお願いいたします。

1. 学会賞の種類：学術賞、奨励賞、実践賞

2. 候補者の要件：学会賞受賞者の資格は原則として東北農業経済学会の会員とする。また、実践賞の受賞者は普及指導員、営農指導員、農業者(農業法人を含む)、関連機関職員等東北農業の発展の貢献し得るすぐれた実践を行った者及びそれを記録した者とする。但し、奨励賞の受賞者は原則として40歳以下の会員とする。

## 2016/17年度研究助成の募集

当学会では、若手研究者の育成を目的として研究助成事業を行っています。この度、2016/17年度の研究助成を募集します。応募要領は以下のとおりです。

1. 応募資格：助成申請時点で本学会会員である大学院生(オーバードクターを含む)ならびに農業改良普及指導員等

※これまでは募集年度4月1日時点で会員であることが応募資格となっておりましたが、上記のように変更されました。

2. 助成額：1件当たり10万円程度、総額20万円以内で毎年2件程度

3. 応募方法：所定の申請書(学会賞事務局にご連絡いただくか、学会ホームページ<http://aestohoku.jimdo.com/>からダウンロードして下さい)にご記入の上、下記学会事務局に提出して下さい。

4. 提出先：  
〒981-8555 仙台市青葉区堤通雨宮町1-1  
東北大学大学院農学研究科資源環境経済学講座気付  
東北農業経済学会事務局 あて  
TEL・FAX：022-717-8910  
Email：tohoku-agriecon@bios.tohoku.ac.jp

5. 提出期限：2016年7月29日（金）  
※周辺の大学院生や普及指導員の方々に紹介いただければ幸いです。

## 役員の変動

所属先の人事変動に伴い、本学会で委嘱している役員にも一部変動が生じたのでお知らせします（役員一覧は学会ホームページに掲載）。

### ◆ 評議員

村上和史 → 及川浩一（岩手県農業研究センター）  
高橋久則 → 江畑正徳（宮城県農林水産部）  
今田裕幸 → 後藤雅喜（山形県農協中央会）  
樋渡和弘 → 伊藤祐幸（山形県農林水産部）  
佐藤清丸 → 芳見 茂（福島県農林水産部）  
櫻谷満一 → 松井章房（東北農政局）

### ◆ 顧問

豊田育郎 → 松尾 元（東北農政局）

## 論文投稿の募集

編集委員会では、多くの会員の皆さんからの論文投稿をお待ちしています。原稿は和文・英文どちらでも結構です。分量は和文で最大22,000字（印刷頁数で12頁）が目安です。詳細については学会ホームページの「会則・規程」の『農村経済研究』投稿規程をご覧ください。なお、投稿規定は2014年8月21日より改訂されておりますのでご留意下さい。投稿先、問い合わせ先は以下の通りです。

東北農業経済学会『農村経済研究』  
編集担当理事 角田 毅 あて  
山形大学農学部食料生命環境学科  
食農環境マネジメント学コース

〒997-8555 山形県鶴岡市若葉町1-23  
TEL・FAX：0235-28-2885  
E-mail：sumita@tr.yamagata-u.ac.jp

## 会費納入のお願いなど

会費の滞納が続きますと、会誌の送付を停止させていただきますこととなります。会費納入は随時受け付けておりますのでお支払い願います。振込金額等のお問合せは下記学会事務局までお願いします。

なお、2016/17年度（2016年9月～17年8月）会費の請求書及び払込用紙は11月頃にお届けする予定です。よろしく願います。

また、変動や卒業・修了等により、住所や所属先等が変更になりましたら、学会事務局あてご連絡下さるようお願いいたします。

東北農業経済学会事務局  
TEL・FAX：022-717-8910  
Email：tohoku-agriecon@bios.tohoku.ac.jp



### <お詫び>

2015秋号の「ご寄附へのお礼」記事で、ミスプリがありました。深くお詫び申し上げます。なお、ホームページには訂正されたものを掲載しております。

（誤）神田建策名誉会員 → （正）神田健策名誉会員



### 編集後記

◆このたび、研究助成の応募資格が変更になりました。この変更によって、今春大学院に進学したばかりという方も応募しやすくなったのではないかと思います。積極的なご応募をお待ちしております。（N）

〔次号2016年秋号は11月頃発行予定です〕

## ■ ■ 会員のよこがお ■ ■



### 小松知未さん

こまつ ともみ  
福島大学うつくしまふくしま  
未来支援センター特任准教授

岩手県大船渡市三陸町生まれ。北海道大学大学院農学院博士後期課程修了。2011年10月福島大学着任、現在に至る。2014/15木下賞（奨励賞）受賞。

このコーナーでは、研究から一步離れて、会員の人となりにアプローチします。それを通じて、会員同士の距離が縮まればいいなと思っています。さて今回は、2014/15木下賞（奨励賞）を受賞された小松知未さんからお話をうかがいました。

——昨年、ラグビーの五郎丸選手がキック前に行う忍者のようなルーティーンが話題になりました。集中力を高めるのに有効だと聞きますが、仕事前に行っている習慣や儀式のようなものはありますか？

職場に到着したら、すぐにお湯を沸かして、自前の茶器を使って、大きめのカップにお茶を入れます。常時、紅茶、中国茶、緑茶、ハーブティーそれぞれ数種類用意していて、その日の業務や気分にあわせて茶葉を選びます。

——自前の茶器ですか。いいですねえ。例えばどんなふうに茶葉を使い分けているんでしょうか？

論文執筆など集中したいときはカフェイン多めの紅茶にします。データ集計や事務作業のときは、リラックスできる香りのもや、体に優しいカフェイン少なめのを飲むようにしています。

——私は眠気覚ましのコーヒーばかりなので、ぜひお茶も試してみたいと思います。ところで、こだわりの仕事道具があったら紹介していただきたいんですけど、写真の黒いT字の機材は何でしょうか？

フリーのソフトフェアとバーコードリーダーを使って蔵書管理をしています。短い時間でリスト化できるので便利です。

——バーコードリーダーなんですね！蔵書管理は悩みの種ですが、こんな便利なモノがあるんですね。知りませんでした。そして右はハンコですね。

「動物認印」を蔵書印として愛用しています。ただ、本に直に押印するのに抵抗があるので、全面ノリの付箋を貼って、その上にはんこをついています。

——なるほど！私、直に押しちゃってましたよ（焦）。印影をみると・・・、これは鳥ですね。

調査の帰りに寄った釧路湿原で、丹頂鶴をみるのができたのがよい思い出になっているので、『丹頂鶴の絵』を選びました。「動物認印」は、犬猫からミジンコまでいろいろな種類が販売されているので、どなたでも好きなデザインを探せると思いますよ。

——仕事の中にちょっとした楽しみを組み入れてるんですね。本を開くたびに気持ちが和みそうです。ほかにも何か楽しみはありますか？ウワサではけっこうお酒がお好きだとか。

地域の農業者グループ、住民組織の共同作業、交流会、視察などには頻繁に参加しています。農作業では、ほとんど戦力になっていないのですが、宴会でお酒を飲むことに関しては、一定の存在感を発揮できているのではないかと思います。

——呑みミュケーションは重要ですよ。特に東北では（笑）。ただ、農村部でお酒飲んじゃうと帰りの交通手段に困ることがあります。

毎度、仕事を忘れて楽しい時間を過ごしていますが、ドライバー役を引き受けてくれる同僚には感謝しなければなりませんね。

——さすが、ぬかりないですね。いろいろ勉強になりました。今度、二日酔いに効くお茶があったら教えてください。どうもありがとうございました。



### ■主な業績

小松知未（2012）『組織法人の経営展開—大規模水田の論理—』農林統計出版。

小山良太・小松知未編（2013）『農の再生と食の安全—原発事故と福島の2年—』新日本出版社。ほか

（聞き手 秋田県立大学 中村勝則）